

2018年3月16日（金）

《問い合わせ先》  
総合労働局  
総合労働局長 富田 珠代  
直通電話 03 (5295) 0517  
代表電話 03 (5295) 0550

報道関係者各位

## 2018 春季生活闘争 第1回回答集計結果について

連合 2018 春季生活闘争につきまして、3月16日（金）午前10時時点で第1回回答集計を行いましたので、結果を報告いたします。

### 【概要】

- 2月の要求提出以降、厳しい交渉環境の中で各労使が真摯に交渉を重ね、14日のヤマ場を含む第1先行組合の回答ゾーンである今週（12～16日）、多くの組合が月例賃金の改善原資を獲得した。
- 集計結果は6,515円・2.16%（去年同期比245円増・0.10ポイント増）であった。300人未満は5,770円・2.17%（同631円増・0.11ポイント増）であり、2014春季生活闘争以来4年ぶりに率で全体を上回り、額では過去最高となった。
- 非正規労働者の賃金引上げは、単純平均で時給25.98円（同2.33円増）・月給5,496円（同137円増）となった。
- 賃金以外でも、所定労働時間の短縮や非正規労働者の処遇改善などが実現している。
- 現時点の最大の特徴は、賃上げの流れが継続し、中小組合の健闘が目立つ点である。この流れが継続するよう、交渉中の組合を最大限支援していく。

### 今後の公表予定

3月23日（金）	第2回回答集計結果（第2先行組合中心）	記者会見（16:00 予定）
4月6日（金）	共闘推進集会（13:30～15:40）	※中央大学駿河台記念館 370号室
	第3回回答集計結果（3月末状況）	記者会見（16:00 予定）



## 1. 賃金引上げ

①平均賃金方式 (集計組合員数による加重平均)

平均賃金方式 (加重平均)	2018回答(2018年3月16日公表)			昨年対比	2017回答(2017年3月17日公表)		
	集計組合数 集計組合員数	定昇相当込み賃 上げ計	定昇相当込み賃 上げ計		集計組合数 集計組合員数	定昇相当込み賃 上げ計	定昇相当込み賃 上げ計
	675 組合 1,268,535 人	<b>6,515</b> 円	<b>2.16</b> %	<b>245</b> 円 <b>0.10</b> %	773 組合 1,483,815 人	<b>6,270</b> 円	<b>2.06</b> %
300人未満 計	353 組合 36,913 人	<b>5,770</b> 円	<b>2.17</b> %	<b>631</b> 円 <b>0.11</b> %	405 組合 41,271 人	<b>5,139</b> 円	<b>2.06</b> %
~99人	198 組合 8,906 人	<b>4,807</b> 円	<b>2.06</b> %	<b>281</b> 円 <b>0.14</b> %	236 組合 10,919 人	<b>4,526</b> 円	<b>1.92</b> %
100~299人	155 組合 28,007 人	<b>6,081</b> 円	<b>2.20</b> %	<b>722</b> 円 <b>0.10</b> %	169 組合 30,352 人	<b>5,359</b> 円	<b>2.10</b> %
300人以上 計	322 組合 1,231,622 人	<b>6,542</b> 円	<b>2.16</b> %	<b>233</b> 円 <b>0.10</b> %	368 組合 1,442,544 人	<b>6,309</b> 円	<b>2.06</b> %
300~999人	145 組合 82,785 人	<b>6,251</b> 円	<b>2.19</b> %	<b>613</b> 円 <b>0.14</b> %	163 組合 97,697 人	<b>5,638</b> 円	<b>2.05</b> %
1,000人~	177 組合 1,148,837 人	<b>6,568</b> 円	<b>2.16</b> %	<b>201</b> 円 <b>0.09</b> %	205 組合 1,344,847 人	<b>6,367</b> 円	<b>2.07</b> %

※ 2018年と2017年で集計対象組合が異なるため、「引上げ額」と「引上げ率」の昨年対比は整合しない。

《参考1》 賃上げ分が明確に分 かる組合の集計 (加重平均)	2018回答(2018年3月16日公表)					
	集計組合数 集計組合員数	額		率		
	428 組合 890,942 人	<b>7,315</b> 円		<b>2,219</b> 円	<b>2.42</b> %	<b>0.77</b> %
300人未満 計	174 組合 22,160 人	<b>6,294</b> 円		<b>1,751</b> 円	<b>2.30</b> %	<b>0.65</b> %
~99人	74 組合 3,838 人	<b>5,814</b> 円		<b>1,724</b> 円	<b>2.39</b> %	<b>0.73</b> %
100~299人	100 組合 18,322 人	<b>6,394</b> 円		<b>1,756</b> 円	<b>2.28</b> %	<b>0.64</b> %
300人以上 計	254 組合 868,782 人	<b>7,350</b> 円		<b>2,231</b> 円	<b>2.42</b> %	<b>0.77</b> %
300~999人	117 組合 68,348 人	<b>6,360</b> 円		<b>1,598</b> 円	<b>2.24</b> %	<b>0.56</b> %
1,000人~	137 組合 800,434 人	<b>7,467</b> 円		<b>2,285</b> 円	<b>2.45</b> %	<b>0.79</b> %

《参考2》 組合数による 単純集計	2018回答(2018年3月16日公表)			昨年対比	2017回答(2017年3月17日公表)		
	集計組合数 集計組合員数	定昇相当込み賃 上げ計	定昇相当込み賃 上げ計		集計組合数 集計組合員数	定昇相当込み賃 上げ計	定昇相当込み賃 上げ計
	675 組合 1,268,535 人	<b>5,915</b> 円	<b>2.20</b> %	<b>491</b> 円 <b>0.14</b> %	773 組合 1,483,815 人	<b>5,424</b> 円	<b>2.06</b> %
300人未満 計	353 組合 36,913 人	<b>5,395</b> 円	<b>2.18</b> %	<b>475</b> 円 <b>0.16</b> %	405 組合 41,271 人	<b>4,920</b> 円	<b>2.02</b> %
~99人	198 組合 8,906 人	<b>4,932</b> 円	<b>2.15</b> %	<b>321</b> 円 <b>0.20</b> %	236 組合 10,919 人	<b>4,611</b> 円	<b>1.95</b> %
100~299人	155 組合 28,007 人	<b>6,002</b> 円	<b>2.20</b> %	<b>644</b> 円 <b>0.08</b> %	169 組合 30,352 人	<b>5,358</b> 円	<b>2.12</b> %
300人以上 計	322 組合 1,231,622 人	<b>6,536</b> 円	<b>2.23</b> %	<b>507</b> 円 <b>0.14</b> %	368 組合 1,442,544 人	<b>6,029</b> 円	<b>2.09</b> %
300~999人	145 組合 82,785 人	<b>6,177</b> 円	<b>2.17</b> %	<b>601</b> 円 <b>0.14</b> %	163 組合 97,697 人	<b>5,576</b> 円	<b>2.03</b> %
1,000人~	177 組合 1,148,837 人	<b>6,861</b> 円	<b>2.28</b> %	<b>444</b> 円 <b>0.14</b> %	205 組合 1,344,847 人	<b>6,417</b> 円	<b>2.14</b> %

※ 2018年と2017年で集計対象組合が異なるため、「引上げ額」と「引上げ率」の昨年対比は整合しない。

②個別賃金方式 (組合数による単純平均)

個別賃金方式	2018回答(2018年3月16日公表)			
	集計組合数 集計組合員数	引上げ額	引上げ率	改定前水準 到達水準
A方式35歳	46 組合 50,093 人	<b>1,715</b> 円	<b>0.61</b> %	281,608 円 283,322 円
A方式30歳	40 組合 23,997 人	<b>1,697</b> 円	<b>0.68</b> %	249,032 円 250,842 円
B方式35歳	40 組合 15,880 人	<b>7,448</b> 円	<b>2.74</b> %	272,016 円 279,464 円
B方式30歳	36 組合 13,883 人	<b>9,091</b> 円	<b>3.79</b> %	239,918 円 249,009 円

【注】

A方式: 特定した労働者(たとえば動統17年・年齢35歳生産技能職、動統12年・年齢30歳事務技術職)の前年度の水準に対して、新年度該当する労働者の賃金をいくら引き上げるかを交渉する方式。この部分を連合は「純ベア」と定義した。

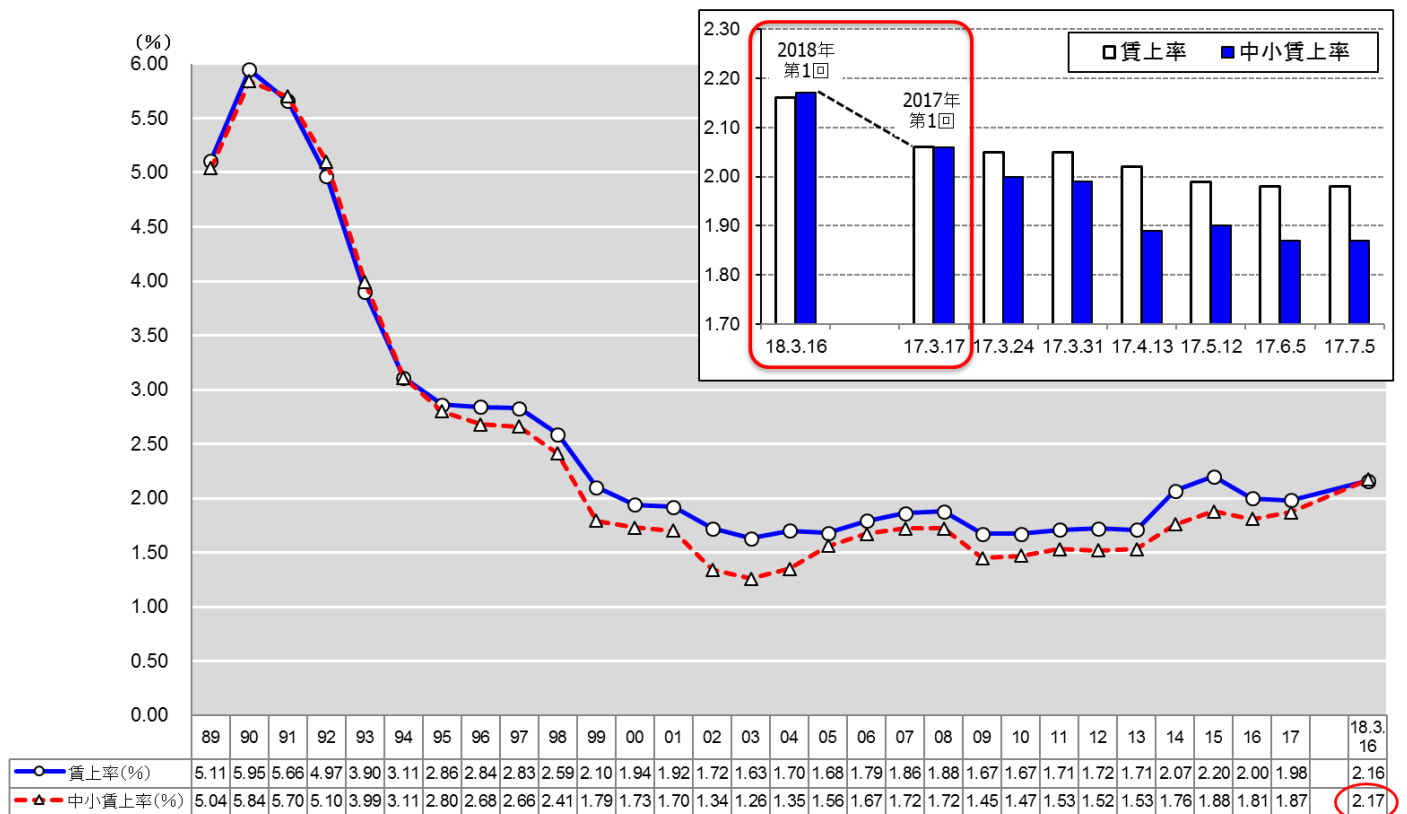
B方式: 特定する労働者(たとえば新年度動統17年・年齢35歳生産技能職)の前年度の賃金に対し、新年度(動統と年齢がそれぞれ1年増加)いくら引き上げるかを交渉する方式。



## 2. 非正規労働者賃金引上げ

時給	2018回答(2018年3月16日公表)			昨年対比	2017回答(2017年3月17日公表)		
	集計組合数 集計組合員数	賃上げ額	平均時給 (参考値)		集計組合数 集計組合員数	賃上げ額	平均時給
単純平均	81 組合	<b>25.98 円</b>	<b>999.89 円</b>	2.33 円	44 組合	<b>23.65 円</b>	<b>978.77 円</b>
加重平均	473,201 人	<b>27.04 円</b>	<b>974.94 円</b>	7.70 円	325,559 人	<b>19.34 円</b>	<b>949.73 円</b>
月給	集計組合数 集計組合員数	賃上げ額	率(参考値)	昨年対比	集計組合数 集計組合員数	賃上げ額	率(参考値)
	単純平均	31 組合	<b>5,496 円</b>		<b>2.65 %</b>	18 組合	<b>5,359 円</b>
加重平均	12,251 人	<b>4,422 円</b>	<b>2.08 %</b>	▲ 532 円	11,193 人	<b>4,954 円</b>	<b>2.39 %</b>

### 平均賃金方式での賃上げ状況の推移(連合結成以降)



(注)1989~2017年のデータは、すべて6月末時点の最終集計結果。

